

笑顔輝く せたっこ通信

令和8年5月
大津市立瀬田幼稚園

幼稚園と小学校の交流 その1

幼稚園と小学校との交流・連携を通して教師も人と関わり「やってみたい」気持ちを高め、子どもたちも育っていきます。「やってみたい」気持ちは子どもたちの主体性や探求心を育み、考えたことを実現できるよう、教師が保育を考え保育力や保育の質を向上させていくと考えています。このことを『瀬田モデル』と称し、小学校と共に取り組んでいます。

まずは小学校の先生を身近に感じ親しみがもてるように…とこどもの日の集いに来ていただきました。幼稚園では、こどもの日にまつわる話を劇で伝えています。



そうです。小学校の先生は「金太郎」の役になっての登場です。

金太郎はハーモニカがとっても上手で、演奏しながら幼稚園に来てくれました。そして、もちろんおすもうは強くて誰にも負けませんでした。野菜もお肉も魚も好き嫌いをせずに、食べているし、外で元気に遊んでいるからだそうです。だけど、くまさんには負けてしまいました。

そこで、いつも元気に外で遊んでいる瀬田幼稚園の子どもたちが金太郎にパワーを送ると

くまさんに勝つことができました。金太郎とあお組の子どもたちのおすもう対決もしました。勝負は、あお組の勝ち！！

最後は『大きな古時計』の演奏をしてくださいました。

初めて聞く音色に子どもたちは真剣に聞いていましたよ。

こうして、子どもたちが小学校の先生と触れ合いながら安心して関わっていくことができます。また、小学校の先生が来てくださることで、幼稚園の様子や子どもたちを知って頂く機会にもなっています。

子ども同士が関わるだけでなく、先生方と

関わることで入学後、「知っている先生がいる」ことは子ども達にとって大きな安心感にもなっています。他にも5歳児が1年生になった時に5年生が6年生に進級し、小学校に知っているお兄さんやお姉さんがいることも安心や喜びになります。



幼稚園と小学校の交流 その2

子どもたちが楽しみにしている『お昼でGO!GO!』が始まりました。これは、毎週木曜日の昼休みに、5年生が順番に幼稚園に遊びに来てくれる、幼稚園と5年生の交流です。これも『瀬田モデル』の一つになっています。

初めての交流の日に、あお組の子どもたちには3つのミッションを伝えました。① 自分から挨拶をしよう。② 自分名前を教えてあげてね。③ 5年生の名前を教えてもらおう。

早速、5年生に出会えると名札を見せながら自己紹介をしていました。Aくんはお兄さんと同じ名前だと分かったと、とびきりの笑顔で「一緒や!」と教えてくれました。このことでお互い、一気に親近感をもつことができました。

5年生のミッションは「自分から関わろう」です。幼稚園と小学校の活動のねがいを共有することで、どちらの教師も同じ思いで関わっていくことができるようにしています。

雨の日の交流は、あお組と5年生の交流になりました。遊戯室でオセロ大会です。

2チームに分かれるために2列に並ぶように声をかけると子どもたちはサッと並ぶ5年生を真似て腕をピンと伸ばす姿がありました。また、オセロゲームの勝敗を調べる時は5年生が駒を集め、高く積んでいきました。



子どもたちにとっては初めての数え方ですが「どっちが高い?」と聞かれると、よく見て「あお色!」「やった~! あお組の勝ちや!!」と高さから数を知る経験をすることができました。

『瀬田モデル』は人との関わりを通して豊かな経験を重ねながら「やってみたい」を育てていきます。



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。